

眼科

■ スタッフ

科長	近藤峰生
副科長	生杉謙吾
医師	常勤 19名 非常勤 6名
視能訓練士	7名

■ 診療科の特色・診療対象疾患

眼科の特徴

三重大学眼科では、現在、あらゆる眼科疾患（眼形成・眼窩疾患分野を除く）に対して、診断と治療をおこなっています。

初診外来は、月曜日から金曜日の8:30～11:00で、紹介状をお持ちでない初診患者さんの診察も受け付けています。（紹介状をお持ちでない場合、別途「選定療養費」がかかります。）特に、火曜日と水曜日の教授外来には、難治性の網膜疾患の方を中心に全国から患者さんが受診されています。再診は、予約制となっています。

三重大学眼科が得意とする疾患は、網膜硝子体疾患（糖尿病網膜症、網膜剥離、黄斑円孔、黄斑前膜などの診断と手術治療）、加齢黄斑変性（抗血管新生療法、光線力学的療法）、網膜変性疾患（網膜色素変性、黄斑ジストロフィーなどの診断とリハビリテーション）、角膜疾患（角膜炎、角膜外傷、角膜ジストロフィー、角膜混濁に対する角膜移植術）、涙道疾患（鼻涙管閉塞に対する内視鏡手術や耳鼻科との合同手術による涙嚢鼻腔吻合術・鼻内法）、緑内障（難治緑内障に対する手術治療）、白内障（小切開超音波白内障手術）、斜視・弱視（屈折矯正と斜視弱視訓練及び手術）、小児眼科（先天白内障、先天緑内障、未熟児網膜症などの小児眼疾患）、ぶどう膜炎疾患（サルコイドーシス、ベーチェット病、原田病など）です。

また、眼科医が24時間365日院内待機をしている県内では数少ない病院の一つで、特に眼外傷の緊急手術など、眼科二次救急を担当しています。

■ 診療体制

主な専門外来

三重大学眼科では、特に専門的治療が必要な疾患、治療の困難な疾患、頻度の高い疾患については専門外来を設け、その分野についてのエキスパートが

治療を担当します。

1) 教授外来

近藤教授の外来には、難治性眼疾患の患者さんをはじめ、全国からあらゆる眼科疾患の患者さんが受診されていますが、特に教授の専門分野は、網膜硝子体疾患、網膜の機能評価（臨床視覚電気生理）です。

2) 網膜硝子体外来

網膜剥離、黄斑部疾患（黄斑上膜、黄斑円孔、黄斑浮腫、中心性漿液性網脈絡膜症など）、網膜静脈閉塞症、網膜動脈閉塞症、増殖硝子体網膜症、硝子体出血などの診断および治療をおこなっています。特に重症型糖尿病網膜症、日本でも中途失明原因の上位となっている加齢黄斑変性という網膜の中心部に異常を来す疾患の専門治療もおこないます。手術治療が中心となることが多いですが、加齢黄斑変性に対しては、蛍光眼底造影検査などによる正確な診断と硝子体注射と呼ばれる眼内注射治療および光線力学的療法をおこなっています。

3) 緑内障外来

日本でおこなわれた大規模調査によると、40歳以上の日本人では20人に1人の割合で緑内障患者が存在すると言われていています。また日本における失明原因のトップは緑内障です。緑内障外来では、最新の検査機器を使った早期診断から長期的な点眼治療、重症例に対する手術治療まで緑内障のトータルケアをおこないます。

4) 角膜外来

角膜炎（細菌、真菌、ウイルスなど）、ドライアイ、円錐角膜、水疱性角膜炎や遺伝性の角膜炎などの診断と治療をおこなっています。特に角膜炎の迅速診断や角膜移植治療を積極的におこなっています。

5) コンタクト外来

円錐角膜や角膜の強い乱視などの眼疾患があり、通常のコンタクトレンズができない方を対象に経験豊富な角膜専門医がコンタクトレンズの処方をおこないます。

6) 涙道外来

成人の鼻涙管閉塞症、乳幼児の先天鼻涙管閉塞症に対し、涙道内視鏡を用いた検査及び治療をおこなっています。また、当院耳鼻咽喉科とも

連携し、流涙症に対し顔に傷が残らない涙嚢鼻腔吻合術鼻内法をおこなっています。

7) 小児眼科外来

視機能発達の重要な時期にある小児が罹患する斜視、弱視、先天白内障、先天緑内障、未熟児網膜症などの疾患の診断、治療をおこないます。また、視能訓練士という国家資格を有する7名の専門スタッフが丁寧に時間をかけて小児の検査・訓練をおこないます。

8) ロービジョン外来

現在の視機能の評価し、読み書きのための道具（ルーペ、拡大読書器、音声パソコンなど）の選定、白杖、日常生活補助具の紹介や身体障害者手帳申請の相談、視覚障害者用社会福祉関係の施設や職能訓練施設の情報提供などをおこなっています。ロービジョン外来は、完全予約制です。

■ 治療実績

1) 外来患者数 (人)

	2019年
総外来患者	31,518
総初診患者	1,730
県外からの紹介患者	60
小児(15歳以下)の紹介患者	223

*特に2019年は眼底三次元画像解析検査12,332件、涙管チューブ挿入82件などを外来にて施行

2) 入院患者数 (人)

	2019年
総入院患者(人)	7,107
平均在院日数(日)	4.3

3) 外来及び入院での手術及び眼注射件数 (件)

	2019年
総手術件数	2,286
硝子体注射	2,242
テノン嚢注射	82

*総手術件数には硝子体注射及びテノン嚢注射を含まず。

4) 主な施行手術と件数 (件)

手術名	2019年
硝子体手術	402
網膜復位術	20
白内障手術	1,058
角膜移植術	15
緑内障手術	139
斜視手術	63

■ 臨床研究等の実績

当科からの論文発表や学会発表実績は以下の通りです。(2019年の代表的なもののみ掲載)

<英語論文>

●Sugimoto M, Tsukitome H, Okamoto F, Oshika T, Ueda T, Niki M, Mitamura Y, Ishikawa H, Gomi F, Kitano S, Noma H, Shimura M, Sonoda S, Sawada O, Ohji M, Harimoto K, Takeuchi M, Takamura Y, Kondo M, Sakamoto T : Clinical preferences and trends of anti-vascular endothelial growth factor treatments for diabetic macular edema in Japan. J Diabetes Investig 10(2):475-483. 2019

●Sugimoto M, Ichio A, Mochida D, Tenma Y, Miyata R, Matsubara H, Kondo M: Multiple Effects of Intravitreal Aflibercept on Microvascular Regression in Eyes with Diabetic Macular Edema. Ophthalmology Retina: S2468-6530(18)30713-9. 2019

●Sugimoto M, Kondo M, Kamimoto Y, Ikeda T, Cutler A, Mariya A, Anand-Apte B: Changes in VEGF-related factors are associated with presence of inflammatory factors in carbohydrate metabolism disorders during pregnancy. PLoS One 14(8):e0220650. 2019

●Sugimoto M, Wakamatsu Y, Miyata R, Nunome T, Tenma Y, Matsubara H, Kondo M, Wada H, Nakatani K: Expression of vascular infarction-related molecules after

anti-vascular endothelium growth factor treatment for diabetic macular edema. *Sci Rep* 9(1):12373. 2019

●Sugimoto M, Wakamatsu Y, Miyata R, Matsubara H, Kondo M, Kamimoto Y, Ikeda T: Relationship between Size of the Foveal Avascular Zone and Carbohydrate metabolic Disorders during Pregnancy.

Biomed Res Int. Vol. 2019. Article ID 3261279. 2019

●Kato K, Miyake Y, Hirano K, Kondo M: Management of Postoperative Inflammation and Dry Eye After Cataract Surgery. *Cornea* 38(11) suppl 1: S25-33. 2019

●Kato K, Kondo M, Takeuchi M, Hirano K: Refractive error and biometrics of anterior segment of eyes of healthy young university students in Japan. *Sci Rep* 9(1):15337. 2019

● Matsui Y, Kondo M, Uchiyama E, Miyata R, Matsubara H: New clinical ultrahigh-resolution SD-OCT using A-scan matching algorithm. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol* 257(2): 255-263. 2019

●Matsui Y, Ichio A, Sugawara A, Uchiyama E, Suimon H, Matsubara H, Suimon H, Matsubara H, Sugimoto M, Ikesugi K, Kondo M: Comparisons of Effective Fields of Two Ultra-Widefield Ophthalmoscopes, Optos 200Tx and Clarus 500. *Biomed Res Int.* Vol. 2019. Article ID 7436293. 2019

<邦文論文>

●杉本昌彦、一尾享史、近藤峰生：携帯情報端末を用いた新しい眼科教育・遠隔診療アシストシステムの構築。あたらしい眼科 36 (8) : 1092-1097. 2019

●佐々木拓、杉本昌彦、坂本里恵、有馬美香、近藤峰生：仰臥位が保持困難な症例に対する術者立位での白内障手術の経験。あたらしい眼科 36 (1) : 121-125. 2019

●加島悠然、一尾享史、榎本寛子、松原央、近藤峰生：ペバシズマブ硝子体内注射と光線力学的療法の併用療法が奏効した漿液性網膜剥離を伴う脈絡膜骨腫の1例。臨床眼科 73 (6) : 801-807. 2019

●前田聡、近藤永子、加地秀、太田一郎、三宅由美子、加藤久美子、松原央、近藤峰生：梅毒性 outer retinopathy の1例。眼科臨床紀要 12 (8) : 622-627. 2019

●間瀬陽子、杉本昌彦、板橋大介、一尾享史、松原央、近藤峰生、濱岡和弥、鈴木志保子、内田恵一：増殖糖尿病網膜症患者への周術期管理としての医療福祉支援の介入。あたらしい眼科 36 (11) : 1451-1455. 2019

●萩元裕作、築留英之、黒瀬大輔、内山恵理子、岡晃子、都築欣一、久保朗子、近藤峰生：外眼筋肥厚を伴う先天性固定斜視の1例。臨床眼科 73 (10) : 1335-1339. 2019

<邦文書籍>

●近藤峰生：【網膜疾患と硝子体病変】網膜疾患と硝子体病変。病気がみえる vol.12 眼科 : 120-130. MEDIC MEDIA. 東京. 2019.6

●近藤峰生：【網膜疾患と硝子体病変】網膜剥離。病気がみえる vol.12 眼科 : 131. MEDIC MEDIA. 東京. 2019.6

●近藤峰生：【網膜疾患と硝子体病変】裂孔原性網膜剥離。病気がみえる vol.12 眼科 : 132-135. MEDIC MEDIA. 東京. 2019.6

●近藤峰生：【網膜疾患と硝子体病変】網膜循環障害。病気がみえる vol.12 眼科 : 136-137. MEDIC MEDIA. 東京. 2019.6

●近藤峰生：【網膜疾患と硝子体病変】網膜動脈閉塞症 (RAO)。病気がみえる vol.12 眼科 : 138-139. MEDIC MEDIA. 東京. 2019.6

●近藤峰生：【網膜疾患と硝子体病変】網膜静脈閉塞症 (RVO)。病気がみえる vol.12 眼科 : 140-142. MEDIC MEDIA. 東京. 2019.6

●近藤峰生：【1. 網膜】色素性傍静脈脈絡膜萎縮。後眼部アトラス : 132-133. 総合医学社. 東京. 2019.10

●近藤峰生：【1. 網膜】先天停在性夜盲。後眼部アトラス : 166-167. 総合医学社. 東京. 2019.10

●杉本昌彦：【1. 網膜】腎性網膜症。後眼部アトラス : 88-89. 総合医学社. 東京. 2019.10

●杉本昌彦：【1. 網膜】妊娠高血圧症候群網膜症。後眼部アトラス : 90-91. 総合医学社. 東京. 2019.10

●松原央：【1. 網膜】側頭動脈炎 (巨細胞性動脈炎)。後眼部アトラス : 106-107. 総合医学社. 東京. 2019.10

●松原央：【3. 硝子体】硝子体出血。後眼部アトラス：332-333. 総合医学社. 東京. 2019.10

●松原央：【3. 硝子体】テルソン症候群。後眼部アトラス：334-335. 総合医学社. 東京. 2019.10

●松井良諭：【1. 網膜】多発性消失性白点症候群。後眼部アトラス：116-117. 総合医学社. 東京. 2019.10

<海外招待講演>

●Kondo M: Dr, I can't see in the dark: clinical approach to nyctalopia. Imaging and Electrophysiology 2019: The Visual System, Structure Meets Function. Singapore. 2019.4.4

●Kondo M: Dr, I don't like bright lights: investigating photophobia. Imaging and Electrophysiology 2019: The Visual System, Structure Meets Function. Singapore. 2019.4.4

●Kondo M: Clinical ERG in inner retinal disease. Imaging and Electrophysiology 2019: The Visual System, Structure Meets Function. Singapore. 2019.4.6

<海外教育講演>

●Kondo M: Clinical applications of the mfERG. 57th ISCEV SYMPOSIUM. Seoul, Korea. 2019.10.5

●Kondo M: A clinical diagnostic approach to retinal disease. 57th ISCEV SYMPOSIUM. Seoul, Korea. 2019.10.5

<海外インストラクションコース>

●Kondo M: ISCEV Instruction Course: Clinical Usefulness of Electrophysiology. APAO2019. BANGKOK, THAILAND. 2019.3.8

<国内シンポジウム>

●近藤峰生：先天停在性夜盲（不全型）。第67回日本臨床視覚電気生理学学会 シンポジウム1. 東京. 2019.6.28

●近藤峰生：ISCEV Extended プロトコール。第67回日本臨床視覚電気生理学学会 シンポジウム3. 東京. 2019.6.29

●近藤峰生：網膜中心静脈閉塞の多施設共研究（1）CRVOの患者背景と最初の治療。第73回日本臨床眼科学会 シンポジウム1. 京都. 2019.10.24

●近藤峰生：小型の手持ち式 ERG 装置を臨床に生かす。

第58回日本網膜硝子体学会総会 シンポジウム1. 長崎. 2019.12.6

●杉本昌彦：糖尿病網膜症・糖尿病黄斑浮腫の治療。第25回日本糖尿病眼学会総会 シンポジウム3. 大阪. 2019.9.28

<教育セミナー>

●近藤峰生：黄斑疾患を見逃さないための問診と検査のコツ。第58回日本網膜硝子体学会総会 教育セミナー2. 長崎. 2019.12.8

<インストラクションコース>

●近藤峰生：どうとる？どう読む？ERG。第73回日本臨床眼科学会 インストラクションコース. 京都. 2019.10.24

●近藤峰生：網膜硝子体ジストロフィの診療の実際。第73回日本臨床眼科学会 インストラクションコース. 京都. 2019.10.25

●杉本昌彦：糖尿病黄斑浮腫アップデート ー明日からできる治療の使い分けー。第73回日本臨床眼科学会 インストラクションコース. 京都. 2019.10.24

（その他の業績等は、下記の三重大眼科公式ホームページをご覧ください。）

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/ophthalmology>